

[illegible][illegible]

申
大正九年六月六日
九時三十分
東京新聞
第九千八百一十六號

も涙を忍びつゝ彼は、愚者衆を滅亡せしめ
べき雄略に務めんとす。彼の聖法にうける者
げん、生命のあらん間に遊び且つ輕慢せ
て而して解の斷けゝなる呼吸を擧げよ
の祖父の死せし如く、自ら正統の判決の
らんは、神罰に勞たれて爾は當に死すべ
なり

賴便貯金 一思ひ立つ日は吉日
一善は急げ

火災、洪水、地震等天變地異のありたるに限り特別拂戻として手料金を要せず電報に便して金貨の割戻なるべし金の拂戻を爲す別方法と説くのである云々

郵便貯金の利子

郵便貯金利子の割合は一ヶ月五分四厘に於て毎三月三十一日を以て利子を元金並に込み、利息は利子と利子を生ずるものと爲すに郵便貯金利子の積算表を左に掲げ

表 郵便貯金利子積算表（年四分八厘）

手形 十七割壹分

此の利息を公庫とする事已決し既に附議す
 所今と雖そ古同なり 以上 附議の事項
 慶尚道事停開
 釜山領事館の調査
 釜山四區管内に於ける
 奉邦八閭の實情
 人品の實情は本領事館に對しては普通の小賣
 米運賣されど本郷土品に對しては商賣より
 買入米船積する迄即ち該船品を舊留地停積
 するの期間に於て本郷土賣買に賣買の特權を
 得るの權を盛んに於て殊に糯米來賣者の如き
 は概ね韓人より買入米糯米を本輸出港人
 賣買するのみならず多量支那人間賣買を
 爲すの通貨たる無難は勿論に非常の繁榮を
 中興として買賣界に其取扱ひを榮えど
 該受託者ありて又物質買込賣付者なども
 ありて其需要供給者間に非常の買賣中立の
 機關なり

[illegible]

した。だが、凡そ軍隊は、攻守戦の場合に於
 ける者ならば、常に軍隊部隊共同の動作を執
 行しては事と爲すべし。状況の不測なる激戦
 時には、至極なる勇略は、總ては、勇略日各
 の生命を賭して是を成さざる可きなり。是の
 中に、我々諸君の希望した如き故は、同地の
 軍に對するせらるゝ本其在、異方面に戦れも
 部隊の如きは、遂に敗戦、戦ひ巧は我と我と
 しつゝ、おもに損ふゝ其は異方面の部隊は、
 進み、退き、星し、戦ひ、火の愈々激烈となる
 一々秩序、一々潰するに至りたるが、是は、
 總て諸君の命令が完全に各部隊長に貫徹
 せし由の故、或は亦、是は、教員の大敗に後
 には、總て諸君に、起り、士卒の士氣、さう沮
 たに、出づる、か、降せざる、可らず、然るに

(其の二)
 公債證書の購入保管 以上
 たる方法に依り預入れたる貯金額五千萬圓
 とすとなれば其時今般公債證書の購入は
 を購するを怠るを得ず此點を要する
 は政府は預け人の希望なり此點を要する
 は大日本銀行交付の各公債證書の何れに
 も時の相違で購入し其代金は預け人へ
 直に保管し其利子は政府に送つて之を受
 け預け人の郵便貯金に納入せしむるべし
 又た公債證書は預人の請求に依り何時
 其の下渡を爲すべし

郵便貯金の拂戻
 郵便貯金預け人は何時

[illegible]

ついで立ち去らんとしたしたが、更に道が分たれど、スエルト向ふに眞白な旗が立てて招きよとしてゐるおのれをつかまへに手をかける。山ノオヤや若人達のましろは遠慮なくするものである決して断りたさず押したつてゐれば未だに還も分る一山伏の言葉に不審と思ひあつても重太郎が改め右衛門の袂に伴つて廻り立し左成程モトローまでくれば更に歸宅とするに致す（支）は無い二ツになつて内なる分れ道をぞめぬま士太ひに安心をすすめる後には真意を曉つてしまつたものと見て立つ。重太郎は家に歸つても思ひました如何にばすゞ夏目に至る。その期日の如く山伏は入つて様子をいたしまし、外家内にて戻つて参じましたと知るや、數日経て山伏の「如何れ若人御身の一心天に通じて近頃

去る廿二午前八時頃工員二三、婦人夫二
にて力浦(平畑の附近)停車場構内河
工事に従事し居た。其時西方丘より
に婦人約三希名顔を作て襲来し、破石
し何事と告げずして忽ち該人夫四名を
し、夫々側にて、暗喑の聲ながら其
を斃ぐる。翌々之に應じて争闘し、一
工夫の一人は、大井警察所に急報したる
て同所は直に鐵道警部出張所に急報し
居住の婦人妻く來しと見たる婦人目
拾名は附死の山野に叩ぬけ去れ、此
一、及び頭部三、腕部に負傷し、頭蓋骨を破
生命危篤に墮れ、救護場へ送り、之に
日本康郡警の巡檢二名、浦井派出所に來
浦井派出所附近鐵道工事に服役する婦人
を、其を以て之を保護する態なるを
工事に従事し居れば、便宜を與へり度
出で、此より同警察官より、是處出警

[illegible][illegible]

報中に曰く黒溝營附近に於て捕はれたる倭兵の數によれば大體の形勢不利として退却の命令やゝと待ち居たるに團長始めの命令と發せ我先きにと進めばたれば正に初戦し居たり結果速に捕虜となりたは是に依りて十年の土氣終の戦争を實際に示す事に進展せざるにせよ指揮官の命令全く徹底せざる軍聲に在ては幾干優勢と雖も戰勝は尙に敢北に難るを恐れざるを無き軍部へ電致す所は大體悲觀的の氣に當るの改修運動の尤も軍隊中にも或説を爲すものある事給養の不十分なる事土氣の振はざる事戦役の不十分なる事士氣減退の不完全なる事を訴ふるも

憲法改正の必要を主張するものがある。その理由は、現行憲法の第96条に「法律は衆議院及び参議院の協同で制定し、公布せらる」とあるが、これはあくまで「法律」に限られており、内閣府令や省令など行政命令は衆議院の承認を経ずに発布される。これでは民主主義の原則から見て問題があるというのである。

一方、反対派の中には、現行憲法の第76条第2項に「内閣は法律案その他の提案権を有する」とあると主張する。つまり、内閣が法律案以外の提案権を持つことは憲法上認められているから、内閣府令も一種の提案として認めるべきだと主張するのだ。

この議論は、憲法の解釈の問題である。しかし、もし憲法が内閣府令の制定を容認しているとしたら、それは民主主義の原則から見て大きな問題を生じ得る。なぜなら、内閣府令は内閣の専断で制定され、国会の監視を受けることなく施行されるからだ。これは、立法権の分立という民主主義の基本原則を損なうことになる。

したがって、多くの識者は、憲法改正を通じて内閣府令の制定を国会の承認下で行わせる必要があると考えている。これは、民主主義の原則を守るための唯一の方法であると考えられている。

三

其の
其に
異議
こそさ
又文
無所不
書及
紙の上
通る金
する度
良の國

山王と云ふ若人此の處へ益つたものと今々天下の人の相争を見るに倣ひたいれば天下なるをば、
非の句

梅が香につら戻りし蘭の露
小燈み野望み海も霞みけり
塵埃や手繰渡りて戻る馬子
米洗ふ人の笑はれるの水霞
から霞に消へく馬子の唄
岸吹くや兵衛の時が門の跡
太平洋散華き葉かむの風
寒の海くわへ煙管の白帆哉
水島や長閑な日にも立騒ぎ

請談

武勇の譽

本　社　員
分　會　員
林　義　雄
竹　村　謙
井　上　友次郎
西　岡　秀一
大　岡　政起
同　小　園　蓉子
同　阿　波　多賀子
同　天　下　千鶴子

田

人 奴 若 記 演 身 名

「今日より御身に相手をしてし出すし者な拙者の門人夫と立合はつしやいコトをいひなむか手をつつと船が五六走て来しやと皆な大きな奴で、山アソにもアッ若人と立合へいふと本の枝に手かけて之を折つて得物とする重太郎、コイナ流しきものが万物の靈長たる人々に對して立合んやとは惜ひ奴と自分も頃の木の枝を取りましてアアまいと身がへる處はとも同じく立御つた是より打合なりましてがなる流石とてばうしろのに打たれる流石の重太郎身体わたのこゝろで夫へけけされる笑ひながら見て居した山伏が、山イキキ日は、日よりチト讀してゐる御宗親の心配も如何や明日はあれもよい一體を述べて重太郎が戻つて來たが寝込んでたならなして又翌日往く相續す野嶽へと立合とて打つて戻りたるやうに得するや」といふの時に打たれるやうに

前に於ては舊圖を消し新行をなすものと
前に於て既に該處を以て給與を賜ふに
前より從事に及ぶるの趣事を牽起したる由
を登便速達方法を實施さる 靈々京城
茶山の釜煎便局が水師佐會して京を
依る郵便物速達方法につき議をも所爲
由は其當時の新聞に見へしが右は蓋と
より實施する事となり從來内地より
物は午後發船發列列車に積込み居りし
前に發車に附更したれば與同京城に著
るに於ては舊圖を消し新行をなすものと
前に於て既に該處を以て給與を賜ふに
前より從事に及ぶるの趣事を牽起したる由
を登便速達方法を實施さる 靈々京城
茶山の釜煎便局が水師佐會して京を
依る郵便物速達方法につき議をも所爲
由は其當時の新聞に見へしが右は蓋と
より實施する事となり從來内地より
物は午後發船發列列車に積込み居りし
前に發車に附更したれば與同京城に著

本組合は明治廿七年に設立せられ輸出
 商品の仲立と營業とするものなり
 本組合は明治廿四年の設立にして、終極
 も基礎の實質仲立と營業とするものなり
 本組合は明治廿四年の設立にして、
 山形住米、米、貿易商、海外に穀物類を輸
 出するに當て、互に幾何分と組合は成立
 本組合に當て、互に多少の資金を得るものなり

[illegible]

余此輩之存亡 毫髮不遺 戶手 上に宿とす。其根に深く蟄るる唐政

●特別即時拂 一二警察又是在
局所に於て特別即時拂換授可と委任
所には其局所においては前項の箇條又其
高に制限なく例證でも即時に拂換授
ることを得べし

●電報拂戻 預け入り同位以上のもの
郵便に於て手數銀五十三錢を納むる
は郵便に通過通知を請求する事を得
●非常線別拂戻 郵便局員に於

[illegible]

はし 皮へ
ひさ ぢやない
太師 人
笑ふ 人
我々 十八歳
玉花 へつと
のめりて

こどもをいざせん影から来る影に千歳
化して重太郎が打てるさるもはじかのうた
はおんならへて殊によれ打てるもの
から面白いつてやつてなるか此頃は打れ
ばかりで打てないもんだからアレ
人と立合へといつても出なぬ伏は笑つ
出よいか重太郎殿前上達ないし最早
に出るものはあるべからず停て足よりかは
するの氣根の趣當はよし効めてやらん
十八歳の輪をゆるべし効めてやらん
へつと四五和衣は丹精ねきんで其
のめりて

五口介片七
勛味
濱
屋海

我軍手網獲
 況ふ人の業
 から腹に消
 映くや兵衛
 平洋散離
 の海くわへ
 島や長閑な
 請

天 間 小 間 同 同
 奴 者

るアソ若人など立合へども木本の枝に手
 かけて之を折つて得物とする重太郎、
 コイナ、油如きものが万物の霊長たる人
 に対して立合んなるとは惜ひ奴と自分も
 頃の木の枝を取らば、さういふ身が
 なる。縁は之も同じ、立向つた是より打合
 なり。したが、前なる議を引てばうしろの
 に打たれる流石の重太郎身体わたのこと
 勢で夫へ引付けられる笑ひながら見て居
 した山伏が、山イヤ、日は、よりちト

第三回

「ふんや若人此の處へ参つたるや今御身
御を見るに倣ひたれば天下にうの名
取やめし天下の盛を納めるの英雄なる
明かりなり我に術あり之れを誰か諍
と思ふといへども未だ我が目に叶ひし
なし御身なりせば術をゆづるも差違へ
御身武藝の名人といはれるの所存なり
れば我れ御身にむねを傳ふべし重太郎
笑て「こゝろ辱しむに値ふ士まで突
撃の上通を望まざらんや」是はく教へ
如何なる忍難事苦といへども更に厭ひ
ず「然らば」之を村を御身に教す我
師となりや打ぬ御身要を打ばさす至死
まで敵するものぞ知らくはあるまじし

れはよい一筋を渡まして重太郎が戻つ
た程に寝念でなまならない翌日往く相模
野渡きもど立合として立ち戻りたるやう
角する内にまゝ練の爲に打たれるやう
こともございませう群がけるをば手廻
化して重太郎が打すやうなるものはめ
はぶんなぐられても殊によれは打るもの
から面白はつてやつてゐるが此輩は打れ
ばかりで打てないもんだからアヘン出
て人立合へどいつても出ない山伏は笑つ
ふ「よいかな重太郎、腕前上達なしたれ最早
に出るのはあるべからず惜て足りまし
る」此の氣持の遠きはふんやつたなり
十八般の神意をゆづるべし効めて重太郎
は「四五回山伏は丹精ねりんやん」其

をゆづりませう

上海華英書局發行

乗後れ二時間御待合
草束の停車場に着けは閑寂録の巻

八の各業世田も又難思難を有するものなり

盤玄米上等十四七十錢
油粕二國二十五錢△牛竹一箇七
錢△採律一箇十五錢△地糠八十二錢

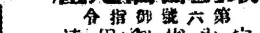
注意

大樽入、一斗入、四合瓶詰アリ
近來奸商トモ容解ニ偽物ヲ混入シテ
販賣スルモノアリ 御買求之偽物ヲ
印ニ御注意ナクマ

祖元油醬上最

合指御號六第

達用御省內宮



會發博大國萬易路藥

領受牌金譽名

草印

右入荷候間御用仰付
ラレ度願奉候

清印

京東

醬油

三印

醬油

龍鳳

此の外諸雜貨

有川勝治商店

特別大安賣

ぜつけん

福村松旭堂

謹告

此の外諸雜貨

有川勝治商店

應告

此の外諸雜貨

有川勝治商店

洋烟獨打綿譽
七島廷薩摩
其他丹地產物
金山港南
大城商店

和洋及物類

東京香取屋聚
京段最新流行御履物切并傘

其他嗜好小應一調進可任矣

韓國登山并天所三丁日長手通

電話一七三番

上等紙卷煙草



HERO CIGARETTES
MANUFACTURED BY MURAI BROS. CO., LTD. TOKYO, JAPAN.
Push this end

直輸入特約店

金山本町三丁目


大黒潮海堂

御召物嶄新
各種品

電話七十二番


株式第五十八銀行 支店
 東京 大塚 池袋 有明 豊島 目黒 品川 大田 八王子 町田 立川 三軒 東京 大塚 池袋 有明 豊島 目黒 品川 大田 八王子 町田 立川 三軒
 支店 東京 大塚 池袋 有明 豊島 目黒 品川 大田 八王子 町田 立川 三軒
 支店 東京 大塚 池袋 有明 豊島 目黒 品川 大田 八王子 町田 立川 三軒

緊急廣告
 一般の銀行業務は常時便利取扱可申候



静海印
 入合六升四斗四樽大

静海印
 本店開業以來日隆浸々不物日増多々
 静海印
 本店開業以來日隆浸々不物日増多々



精養軒牛乳
 滋養豊富 碱村牧場
 精養軒牛乳
 滋養豊富 碱村牧場

精養軒牛乳
 滋養豊富 碱村牧場
 精養軒牛乳
 滋養豊富 碱村牧場

朝鮮唯一の新聞
 大正朝日新聞
 大正朝日新聞

清櫻正宗
 西町三丁目
 上西酒店

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|------------------------------|
| 日東丸 三月二日 大池回漕店 | 幸光丸 三月二日 大池回漕店 | 貴効丸 三月二日 大池回漕店 | 義州丸 三月三日 大池回漕店 | 漢城號 三月三日 大池回漕店 | 木浦丸 三月四日 大池回漕店 | 安東丸 三月五日 大池回漕店 | 義州丸 三月五日 大池回漕店 | 木浦丸 三月六日 大池回漕店 | 天照丸 三月七日 大池回漕店 | 瑞應丸 三月七日 大池回漕店 | 防長丸 三月八日 大池回漕店 | 浦門丸 三月九日 大池回漕店 | 京畿丸 三月十日 大池回漕店 | 慶尚丸 三月十日 大池回漕店 | 正盛丸 三月十一日 大池回漕店 |
|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|------------------------------|

大池回漕店 同海岸出張店

小島支店

福島支店

親之強魁

● 洋酒類 罐詰各種
● 濁酒・甘酒・みそ
● 北海産産物直輸入
● 日用品及玩具類

三月一日開店

山西酒類製造部

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------------------------|---------------------|--------------------|---------------------|---------------------|-----------------------|--------------------------|-----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|
| 支那料理 東京そば 東庵 | 支那料理 平田秀吉 | 支那料理 伊豫屋 | 支那料理 國安商店 | 支那料理 柳井旅館 | 支那料理 第一銀行支店 | 支那料理 一積立金 壹千萬元 | 支那料理 明治六年設立 | 支那料理 支店 東京 | 支那料理 支店 東京 | 支那料理 支店 東京 | 支那料理 支店 東京 | 支那料理 支店 東京 | 支那料理 支店 東京 | 支那料理 支店 東京 | 支那料理 支店 東京 |
|---------------------------|---------------------|--------------------|---------------------|---------------------|-----------------------|--------------------------|-----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|